

TOTO

ワイヤレススイッチユニット

TES33型・TES34型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



○は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告

ガタついているコンセントは使わない

火災や感電の原因になります。



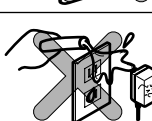
指定する電源(AC100V)以外では使用しない

火災の原因になります。



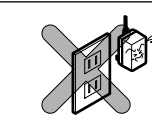
ACアダプターや駆動部・コントローラーに水をかけない

火災や感電の原因になります。



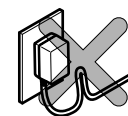
ACアダプターを上下逆に差し込まない

火災の原因になります。



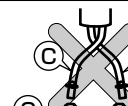
警告

ACアダプターおよび電源コードが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



駆動部の湯側と水側を逆に取り付けない

湯が先に出てやけどをすることがあります。



給湯温度は60℃より高温で使用しない

高温の湯が出て、やけどをすることがあります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や医療機器の近くで使用しない

自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
なお、このリモコンは微弱電波無線機器に該当し、出力は294MHz帯、500μV/m以下です。

浴室など湿気の多い場所には設置しない

故障や感電の原因になります。



ACアダプターをコンセントに差し込むときは
根元までしっかり差し込む

火災の原因になります。



禁止




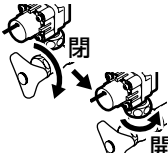

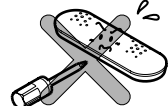
水場使用禁止



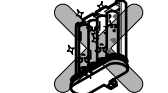
必ず実行

1-2

警告

 必ず実行	<p>フィルターの掃除をする際は、いきなり袋ナットをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う また、湯側駆動部が熱くないことを確認する</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
 分解禁止	<p>絶対に分解したり、修理・改造は行わない</p> <p>火災や感電の原因になります。</p>	

注意

 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>屋外や凍結が予想される場所には設置しない</p> <p>故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しない</p> <p>電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>	
	<p>表面材質の弱い場所にリモコンを取り付けない</p> <p>塗装面や壁紙・化粧紙仕上げ・その他表面処理や材質によっては、リモコン取り外し時に塗装や表面材がはがれたり、変色・劣化するおそれがあります。</p>	
 必ず実行	<p>リモコンを床に取り付けるときは、つまずかないような場所に取り付ける</p> <p>転倒などによりけがをするおそれがあります。</p>	
	<p>塩ビ材質の場所にリモコンを取り付けるときは、固定用補助フィルムを必ず下に貼る</p> <p>リモコン取付部が変色、劣化する原因になります。</p>	<p>固定用補助フィルム</p> 

2 仕様

タイプ	AC100Vタイプ	乾電池タイプ
電源	AC100V 50/60Hz	DC 6V (アルカリ乾電池単3形×4本) 電池寿命約1年 (100回/日使用時)
リモコン電源	DC 3V(リチウム電池CR2032×1個) 電池寿命約1年(100回/日使用時)	
消費電力	待機時：2W 作動時：3W	—
コード長さ	ACアダプター：1.9m 駆動部：0.57m	駆動部：0.57m
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧) (ただし、組み合わせる水栓の最低必要水圧+0.03MPa) (流動圧)以上の水圧が必要です
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
最高給湯温度	85℃ (ただし、安全のため60℃以下でご使用ください)	
使用環境温度	1~40℃ (凍結が予想される地域では使用できません)	
給水部接続	G1/2	
用途	一般住宅台所用	

3 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

●使用圧力

①瞬間式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力(注)… (水栓の最低必要圧力)+0.03MPa(流動圧)
最高圧力 … 0.75MPa(静水圧)

(注)水栓の最低必要圧力については、水栓の施工説明書をご覧ください。

②貯湯式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力 … 0.05MPa
最高圧力 … 0.75MPa

ただし、下記水栓については最低必要圧力が異なりますので注意してください。

- 整流・ソフト切替式のハンドシャワー水栓 … 0.08MPa以上(静水圧)
- 一時止水機能付きのハンドシャワー水栓 … 0.10MPa以上(静水圧)

●やけど防止や配管保護のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするが、同圧になるようにしてください。

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。

2. 給湯温度の確認

- 誤動作などによるやけど防止のため、**60℃給湯**をおすすめします。

3. 給水・給湯取出位置について

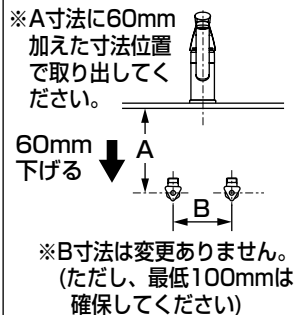
- 水栓のみの取出位置より**約60mm下げて**取り出してください。

駆動部を取り付けることにより、水栓の給水管(またはホース)の接続が上がり、場合によっては取り付けできないことがあります。

(床給水の場合、止水栓取付位置を約60mm下げてください)

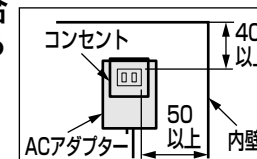
水栓の取出位置については水栓の施工説明書をご覧ください。

- 既設配管に取り付ける場合、フレキホース(別売: TNY98LRX50など)で水栓の給水・給湯ホースが折れ曲がらないように配管してください。



4. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 乾電池タイプは電源工事不要です。
- AC100Vタイプの場合、**電源はAC100V(50/60Hz)**です。
また、ACアダプターがコンセントより大きい場合がありますので、キャビネットの内壁にぶつからない位置にコンセントを取り付けてください。

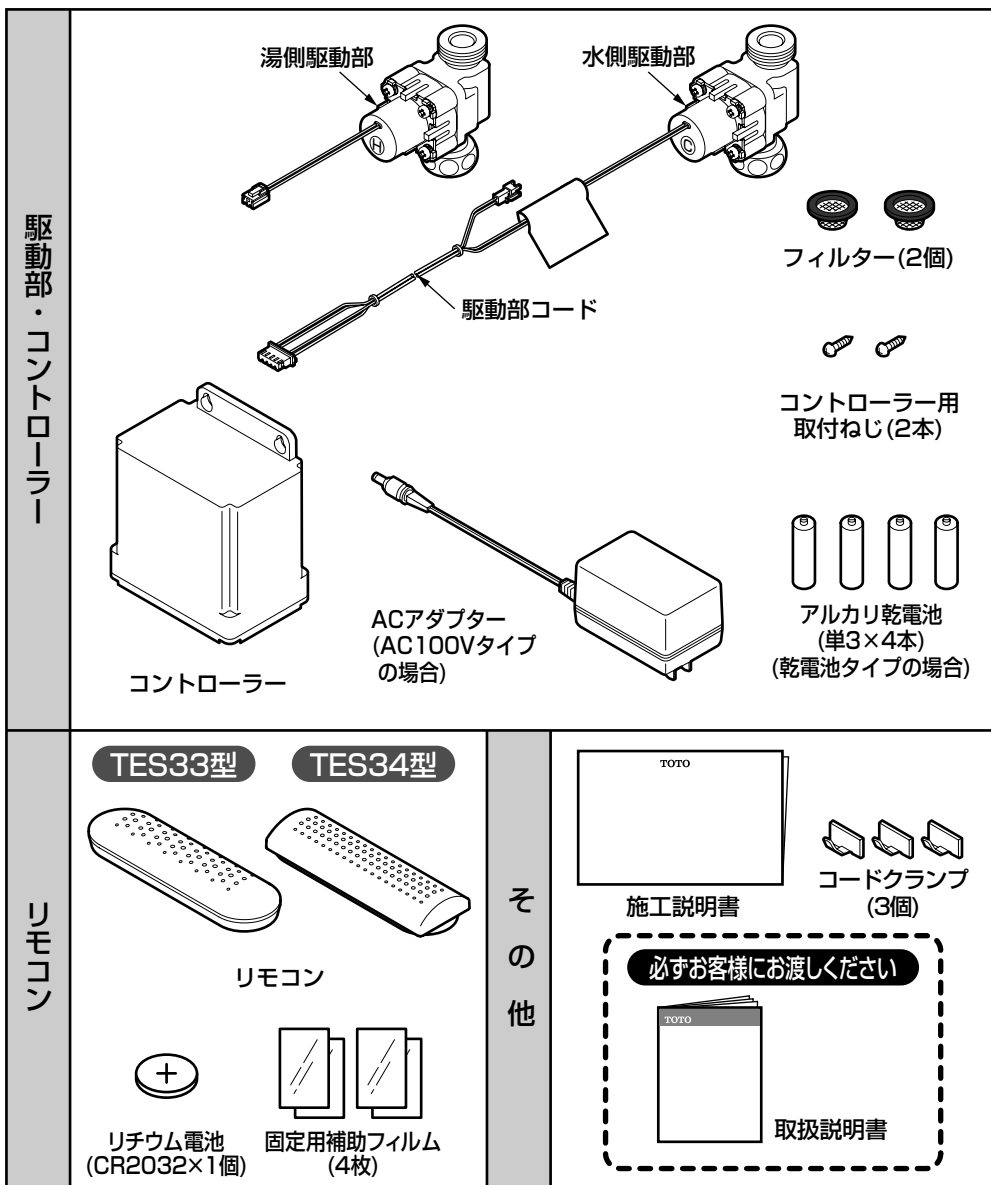


5. その他

- リモコンとの通信には微弱な電波を使用しているため、オールステンレスのキッチンには使用できません。
- リモコンおよびコントローラーは金属面に取り付けしないでください。
電波の受信ができず、動作しない原因となります。
- コントローラーや駆動部、ACアダプター、コード類は、引き出しや収納物が当たらない位置に取り付けてください。
コード類の断線や故障の原因となります。
- リモコンの取付位置により、腕やひざ、足での操作を選択できます。
- 食器洗浄機などで連続給水が必要な場合は、給水管を駆動部の前(上流側)から分岐してください。
自動止水機能により、食器洗浄の途中で断水することがあります。
自動止水タイマーの初期設定は「10分」です。
給水管を水栓または水栓と駆動部の間から分岐する場合は、タイマーの設定を「8時間」に切り替えてご使用ください。切替方法は「取扱説明書」をご覧ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

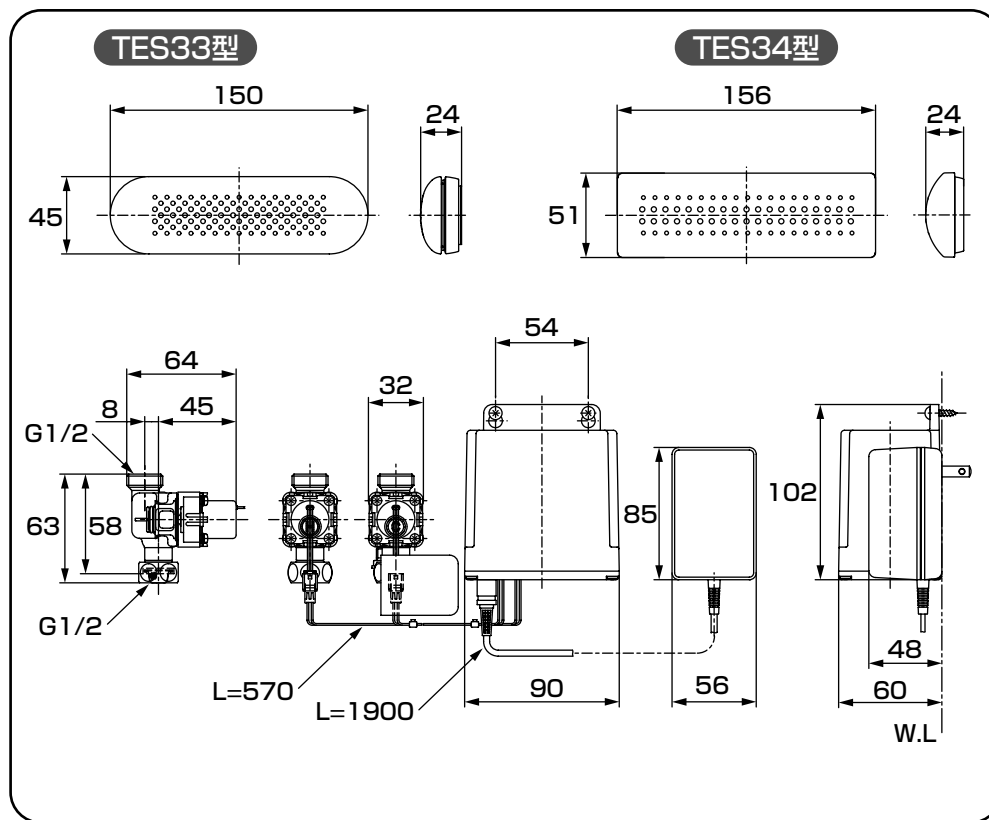
次の部品があることを確認してください。



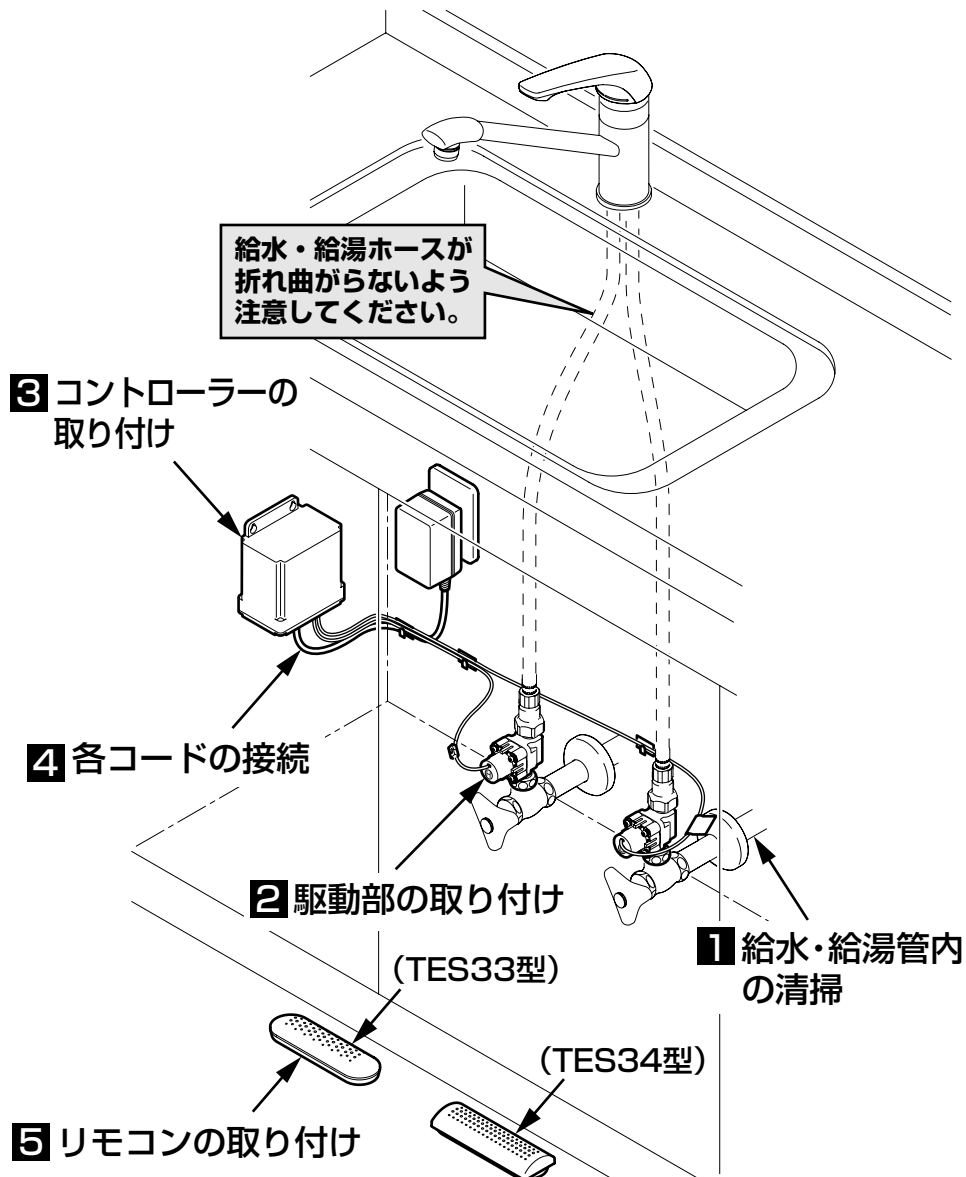
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 各部の寸法

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



裏面へつづく



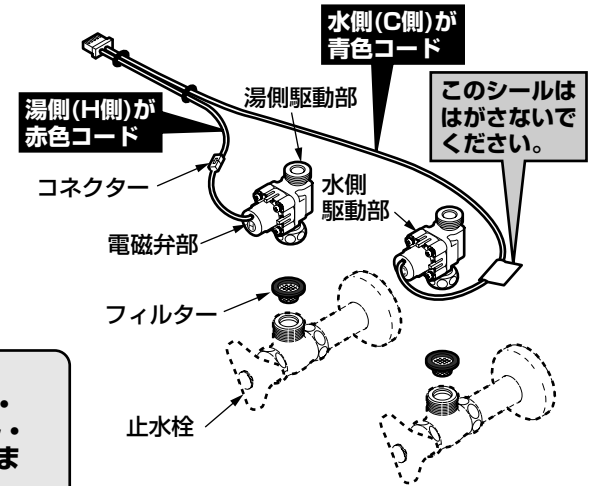
重要

1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

2 駆動部の取り付け

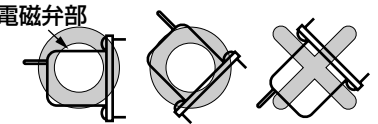
- ① フィルターの網が止水栓側に向くように取り付ける。
- ② 電磁弁部が正面を向くように駆動部を止水栓に取り付ける。
- ③ 湯側駆動部のコネクターを駆動部コードのコネクターに接続し、駆動部の後ろ側にコードを通す。



注意

- 駆動部には、湯側(Hラベル・赤色コード)と水側(Cラベル・青色コード)の区別をしておりますので、ご注意ください。
- 駆動部は、電磁弁部が正面になるように固定してください。取合いが正面にできない場合は、電磁弁部が必ず水平より上向きになるようにしてください。
- コネクターはロックするまで確実に差し込んでください。
- シャワーホースとの干渉を防ぐため、駆動部コードは湯側・水側駆動部の外側を通るように配線してください。

電磁弁部



- ④ 駆動部に水栓を取り付ける。
※取付方法については、水栓の施工説明書をご覧ください。

注意

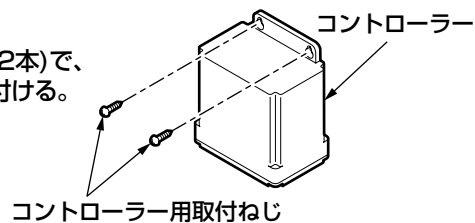
水栓の給水・給湯ホースが折れ曲がらないように配管してください。

3 コントローラーの取り付け

コントローラーをコントローラー用取付ねじ(2本)で、キャビネット内の横の面または奥の面に取り付ける。

注意

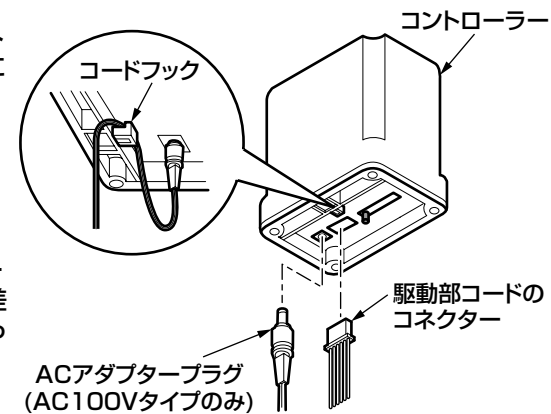
- コントローラーは、駆動部よりも高い位置になるように取り付けてください。
- コントローラーは金属面に取り付けしないでください。
- 鋼やステンレスシンクなどの金属に覆われにくい位置に取り付けしてください。
- コントローラーはリモコン取付位置から1m以内に取り付けてください。
- コントローラーは、上下逆向きや横向きに取り付けしないでください。



4 各コードの接続

① 駆動部コードのコンネクターをコントローラー下側のコンネクターに確実に差し込む。

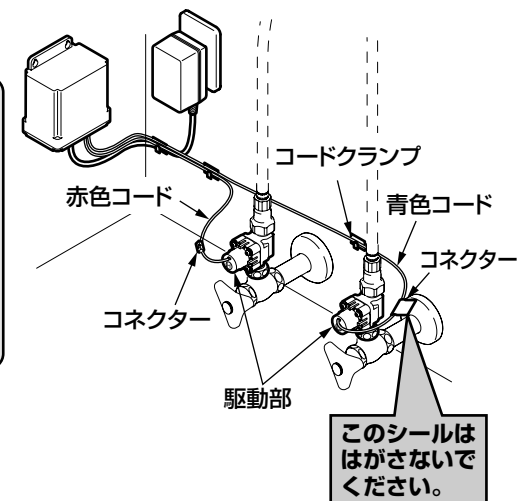
② (AC100Vタイプの場合)
ACアダプターのプラグをコントローラー下側のACジャック部に確実に差し込み、コードをコードフックに引っ掛ける。



③ コードクランプを使って、各コードをキャビネット内に固定する。

注意

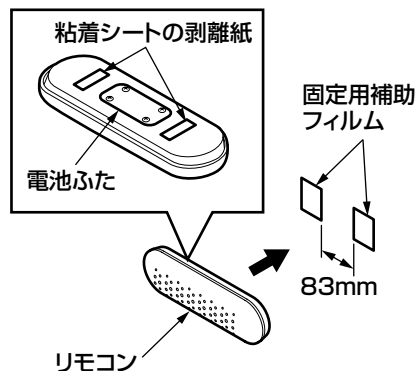
- 全てのコードは安全のため、通水部に接触しないように固定してください。
- コンネクターが結露した水でぬれないように、コンネクターが駆動部より高い位置になるように駆動部コードを固定してください。



5 リモコンの取り付け

リモコンの取付位置は、お客様と相談のうえ、決めてください。

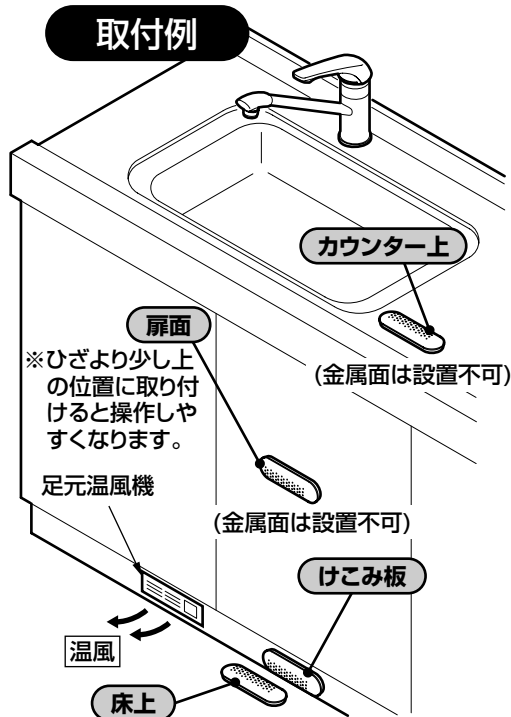
- ①リモコンの電池ふたの取付ねじ(4本)を外して、同梱のリチウム電池(CR2032)を取り付ける。
詳しくは「取扱説明書」を参照してください。
- ②リモコン取付位置に固定用補助フィルム(2枚)を貼り付ける。
各固定用補助フィルムの間は83mmあけてください。
- ③リモコン裏面の粘着シートの剥離紙をはがし、固定用補助フィルムの上に貼り付ける。



注意

- リモコンはステンレスなど金属製のカウンターや扉には設置できません。
- 設置場所によって電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取り付けてください。
電波を受信しにくい場合は、コントローラーまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。
- リモコンはコントローラーから1m以内の範囲に設置してください。
- リモコンは落下しないように、必ず固定してご使用ください。
- 足元温風機と併設する場合は、温風が直接リモコンに当たらないように横にずらして取り付けてください。
- 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。
 - ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
 - ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
 - ・リモコンとコントローラーの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
 - ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。

取付例



試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①電源を入れる

<AC100Vタイプの場合>

ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

<乾電池タイプの場合>

コントローラー下部の乾電池ケースに同梱の乾電池(単3×4本)を取り付けてください。(取付方法は、「取扱説明書」を参照してください)

②水を出す・止める

止水栓を開き、レバーハンドルを上げて吐水状態にしてください。(吐水状態でも水は出ません)

リモコンを押すと水が出ます。もう一度押すと止まります。

③吐水状態の確認

水側・湯側両方が給水・給湯されているか確認してください。

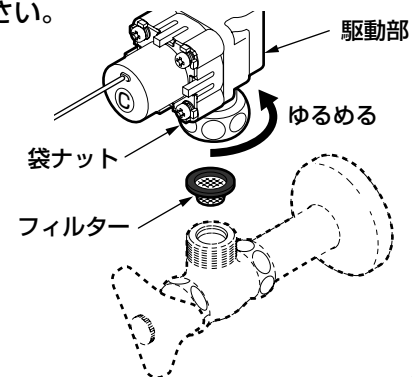
2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

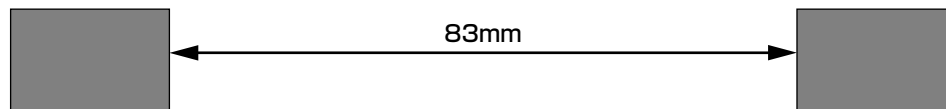
※フィルターを掃除する際は、**止水栓を閉めたあと、袋ナットをゆるめてフィルターを外してください。**

また、湯側駆動部が熱くないことを確認してください。

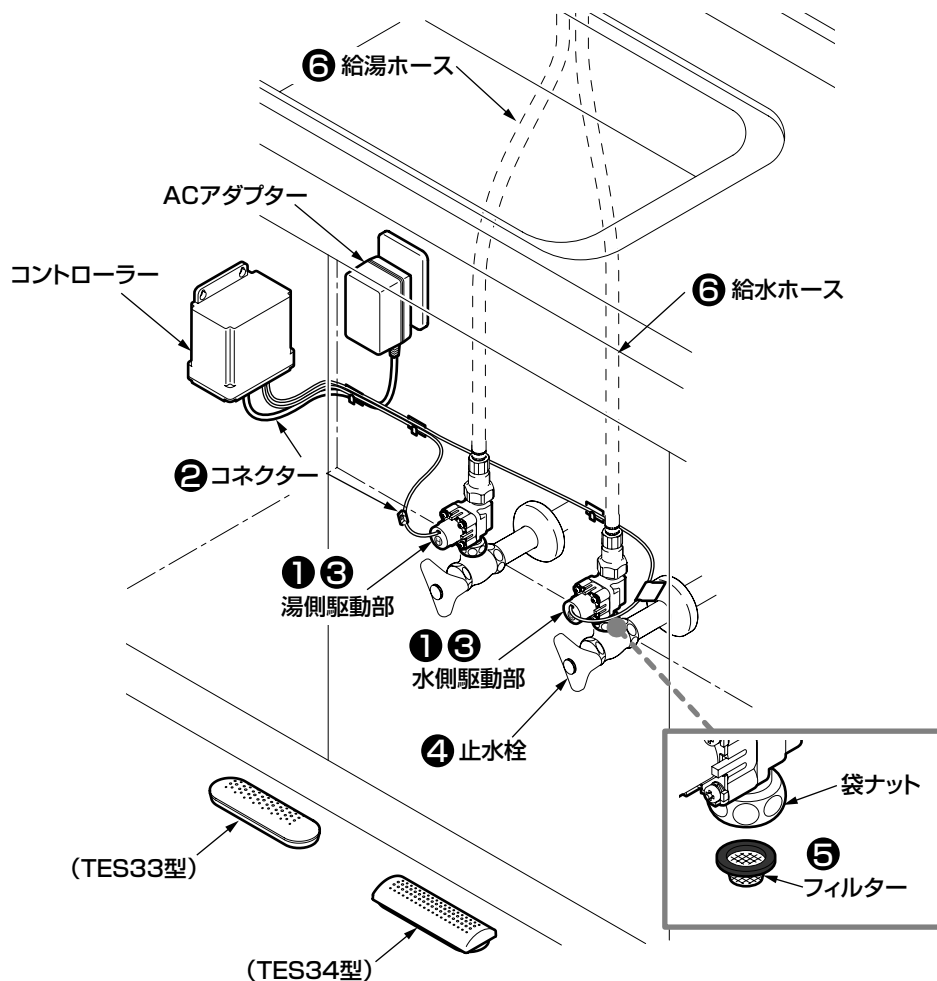


<固定用補助フィルム貼付位置>

固定用補助フィルムをグレーの位置にそろえて貼ってください。



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 駆動部の水漏れはないですか？

➡ ⑥-1 - ②「駆動部の取り付け」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

② コネクターはしっかり差し込まれていますか？

➡ ⑥-2 - ④「各コードの接続」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ 駆動部は逆に接続されていませんか？

➡ ⑥-1 - ②「駆動部の取り付け」参照

④ 止水栓は開いていますか？

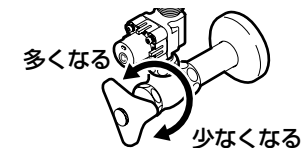
➡ 止水栓で流量を調節する。

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ ⑦ - ②「フィルターの掃除」参照

⑥ 水栓の給水・給湯ホースが折れ曲がっていませんか？

➡ ③ - ③「給水・給湯取り出し位置について」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。